



西東京の教育

発行＝
西東京市教育委員会
〒202-8555
西東京市中町1-5-1
電話 042-464-1311(代)

編集＝
西東京市教育委員会
教育部教育企画課

市ホームページアドレス
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/

平成28年(2016年)11月1日発行 第75号

今年も盛りだくさん!!

歴史・文化に触れる 秋冬イベント



歴史や文化に親しむ季節の到来です。教育委員会では、今年も下野谷遺跡や郷土資料室を中心に、様々な企画を準備しました。この機会にぜひ身近な文化や文化財に目をとめ、楽しんでみませんか。

東京文化財ウィーク2016

毎年秋に行われる東京文化財ウィーク。

国史跡下野谷遺跡では、「下野谷遺跡公園」の開園とともに始まった「縄文の森の秋まつり」が10回目を迎え、お祝い気分も満載に10月9日(日)にぎやかに行われました。

郷土資料室では、「歴史の宝ものめぐり」と題した写真展を開催し、市・都・国が指定する文化財を紹介いたします。文化財にまつわる昔話の読み聞かせもあり、子どもも大人も楽しめます。

また、下保谷の屋敷林を舞台に、地域の自然・歴史・文化を知り、楽しむイベントは、保谷地域を潤した特産品として、主に「藍」と「たくあん」に光を当てます。

たくあんの歴史や生産方法、また生産に欠かせない漬物石の流通についてなど、幅広いテーマでパネル展示やミニ講演会を行います。

藍染めやお茶席などの体験もでき、木々の色づく屋敷林の秋を満喫しながら楽しむことができます。

今年も文化財ウィークに奮ってご参加ください。

◆社会教育課

042(4638)4079

これから参加できる

文化財ウィーク2016企画事業

◆郷土資料室秋の特別展
「西東京市の文化財を知らう」歴史の宝ものめぐり―指定文化財写真展―
日時…11月20日(日)まで10時～17時(月・火休室)
会場…郷土資料室
(西原町4-5-6)
その他…「文化財にまつわる昔語り」11月6日(日)13時～15時 同会場にて
◆秋の屋敷林企画
「保谷のアイとたくあん」明治から昭和へ「保谷を支えた特産品」
日時…11月3日(木・祝)9時30分～14時
*荒天中止
会場…下保谷の屋敷林(下保谷4-7-4)

特別公開

「田無神社本殿特別公開」
日時…11月4日(金)・11日(金)・23日(水・祝)18時～20時
会場…田無神社(田無町3-7-4)
042(461)4442

◆秋の屋敷林企画

「保谷のアイとたくあん」明治から昭和へ「保谷を支えた特産品」
日時…11月3日(木・祝)9時30分～14時
*荒天中止
会場…下保谷の屋敷林(下保谷4-7-4)

ありがとう祝10周年 縄文の森の秋まつり ～未来につなぐしたのやの〇(わ)～

下野谷遺跡公園開園から開催されている「縄文の森の秋まつり」が10月9日(日)、第10回目を迎えました。

午前中の雨模様も午後から回復し、これまでで最も多くの方々にご来場いただきました。市民や大学生等有志の



手作りの「くすだま」で10回のお祝い

日本の伝統技術を体感する「伊勢型紙」

手ぬぐいや小紋を染める型紙の製作技術として受け継がれてきた、伊勢型紙の技を市内在住の彫り師に学びます。
彫り上げた型紙は、額に入れて素敵なインテリアに、また年賀状などに活用しても素敵です。
今年はその型紙を使って藍染めとのコラボにも挑戦します。
日時…11月27日(日)10時～15時
会場…郷土資料室
申込み…11月4日(金)～



伊勢型紙(右上)と藍の絞り染め(左下)

下野谷遺跡シンポジウム

「森・海・山の縄文」

下野谷遺跡は縄文時代中期の南関東最大級の大集落です。この集落を支えたのは周囲に広がる森の恵みと海や山など遠隔地のムラともつながる広いネットワークの存在だったと考えられます。

今回のシンポジウムでは、森、海、山などの多様な資源を巧みに利用していた縄文文化を、それぞれの資源利用を代表する遺跡の研究をもとに検証します。

また、それらの遺跡を活かす市民活動等も紹介します。



「森の集落」したのやムラ想像図

日時…12月11日(日)13時～17時
会場…保谷こもれびホール小ホール
申込み…11月17日(木)9時～
申込み方法…電話受付
定員…200人(申込順)